

中小企業景況調査結果(平成27年4~6月期)

中小企業の業況は、緩やかに回復する見通し

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成27年4~6月期実績と平成27年7~9月期見通しについての調査結果(回答数84社、回答率84%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

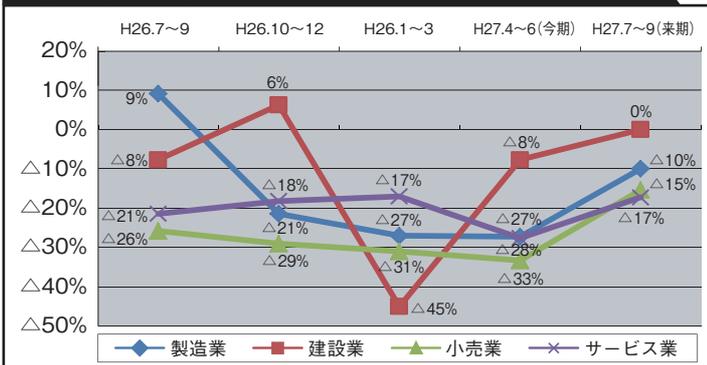
全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期▲28%から▲27%とほぼ横ばい。業種別にみると、製造業が▲27%から▲27%と横ばい、小売業が▲31%から▲33%に、サービス業が▲17%から▲28%にそれぞれ低下した。建設業は▲45%から▲8%へと大幅に回復し、来期はさらに改善することが見込まれており、消費税増税前の駆け込み需要の影響は薄れてきている。サービス業は、業界によっては人手不足や人材のミスマッチにより従業員数が▲22%に減少。平成27年7~9月期の見通しについては、全業種でマイナス幅が縮小し緩やかに回復の見通しである。

経営上の問題点については、全業種とも「需要の停滞」を挙げており、今期も解消されていない。サービス業は、顧客ニーズの変化への対応が問題となっている。また、仕入れ単価もしくは、材料価格の上昇をあげる企業が多く見られ、依然として厳しい状況が続いている。

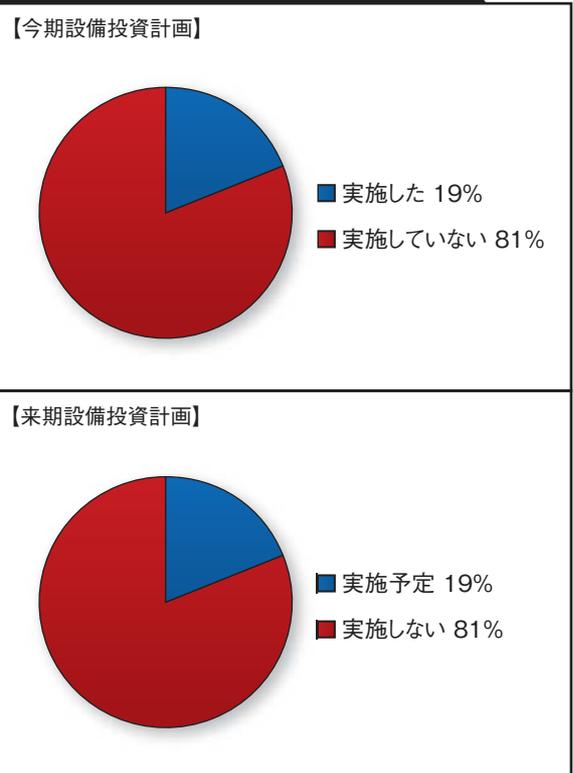
◆業況DI値(今期の状況)

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△27%	→	△26%	↗	△22%	↘	30%	↗	△23%	→	△16%	↘
製造業	△27%	→	△25%	↘	△17%	↗	67%	↗	△27%	↘	△18%	↘
建設業	△8%	↗	△23%	↗	△23%	↗	38%	↗	△15%	↗	△15%	↗
小売業	△33%	↘	△37%	↗	△30%	↘	15%	↘	△30%	→	△8%	↘
サービス業	△28%	↘	△17%	↘	△14%	↘	22%	↘	△17%	↘	△22%	↘

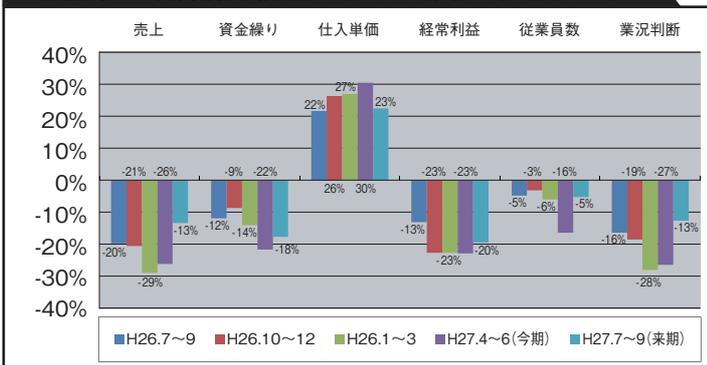
◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)



◆新規設備投資(今期実施・来期計画)



◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 24.1%	民間需要の停滞 17.1%	需要の停滞 17.4%	利用者ニーズの変化への対応 16.9%
2位	原材料価格の上昇 16.0%	材料価格の上昇 14.3%	購買力の他地域への流出 15.9%	需要の停滞 15.4%
3位	製品ニーズの変化への対応 12.0%	材料費・人件費以外の経費の増加 11.4%	消費者ニーズの変化への対応 14.5%	材料等仕入単価の上昇 12.3%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。